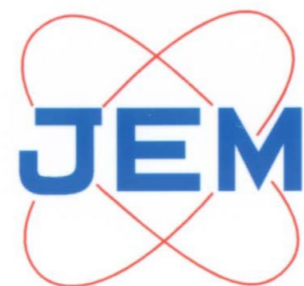


2026年5月19日



# 日本電子材料株式会社

## 2026年3月期通期決算説明会



本プレゼンテーションに記載されている情報は、現時点で当社が入手可能なデータおよび合理的と判断した前提に基づいて構成されています。しかしながら、当社の実際の業績や将来の見通しは、経済環境の変化、半導体業界における世界的な需給バランスの変化など、数多くの不確実な要因に影響を受ける可能性があります。このため、本プレゼンテーションの記載内容とは大きく異なる場合があることを予めご了承くださいませようようお願い申し上げます。

*Your Probing Partner*

# 本日の内容

1. 2026年3月期 通期決算概要  
代表取締役社長 社長執行役員 坂田 輝久
2. 財政状態及びキャッシュ・フローの状況  
執行役員 管理部門統括部長 石本 浩久
3. 今後の事業環境の見通し  
代表取締役社長 社長執行役員 坂田 輝久
4. 質疑応答

# 2026年3月期 通期決算概要

*Your Probing Partner*

# 決算概要



(単位:百万円)

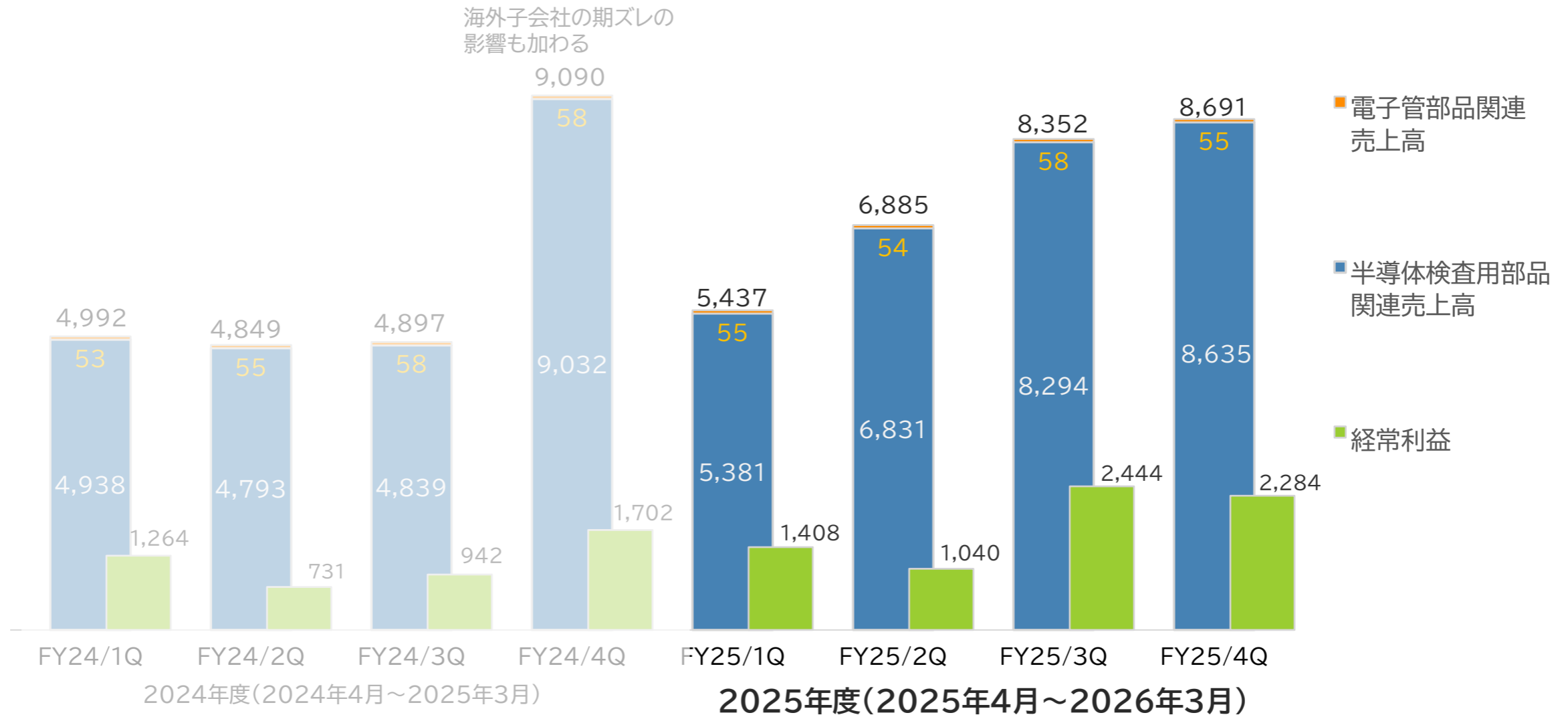
	2024年度 通期	2025年度 通期	増減額	対前年比 増減(%)
売上高	23,829	29,366	5,536	23.2%
営業利益	4,585	7,249	2,664	58.1%
経常利益	4,640	7,177	2,536	54.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,454	5,451	1,996	57.8%

*Your Probing Partner*

# 四半期業績推移



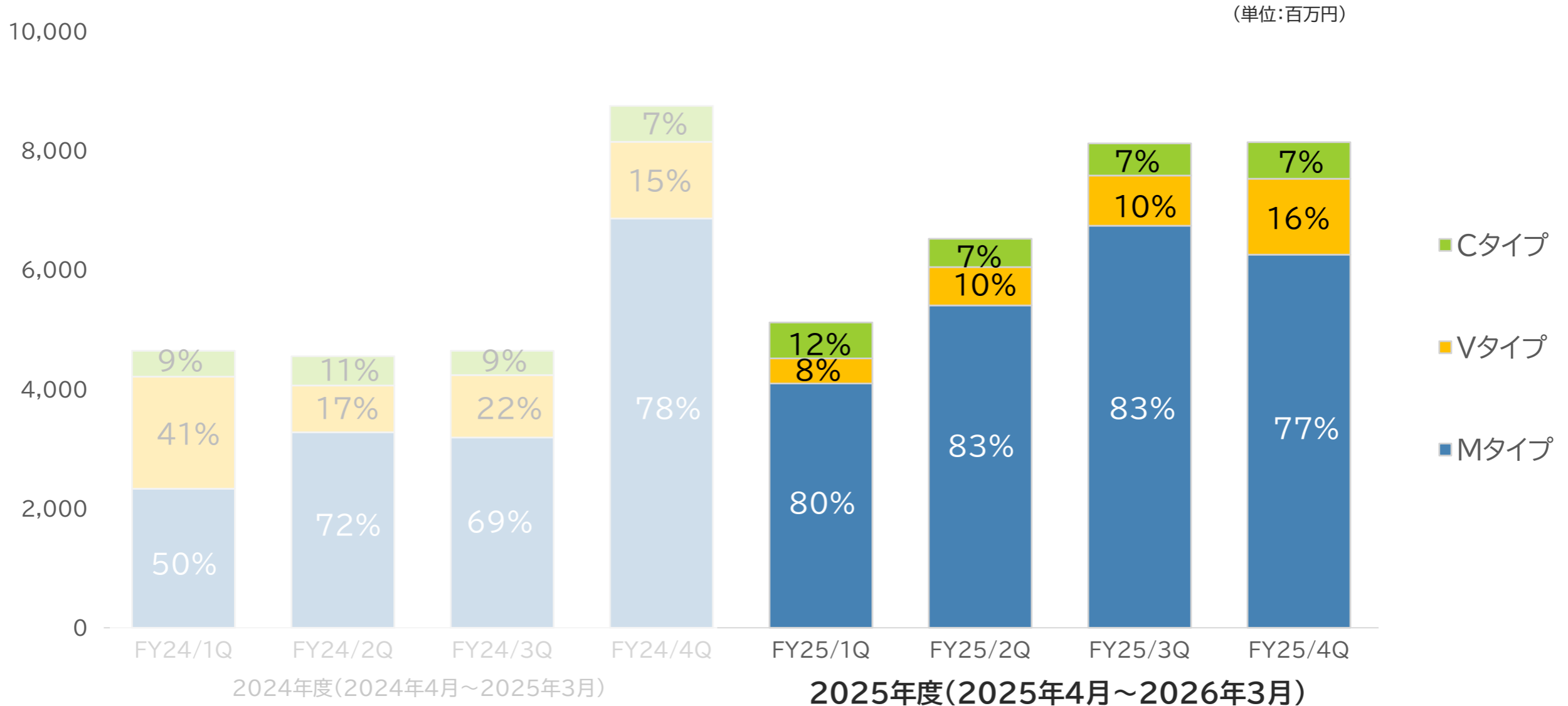
(単位:百万円)



2025年度も成長基調で推移

*Your Probing Partner*

# 四半期業績推移(プローブカードタイプ別)



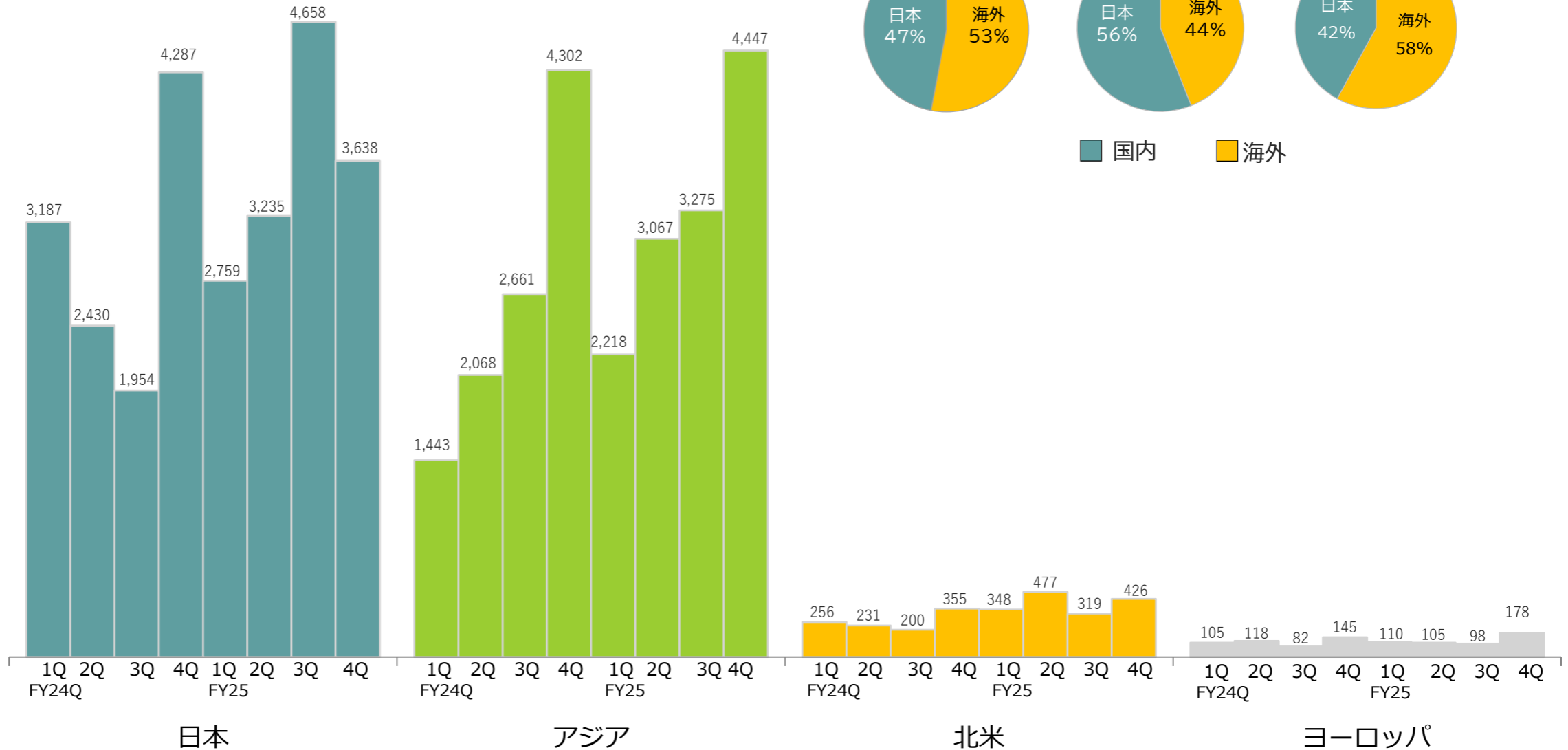
Mタイププローブカードが堅調に推移

*Your Probing Partner*

# 四半期業績推移(地域別推移)



(単位:百万円)



*Your Probing Partner*

# 財政状態及びキャッシュ・フローの状況

# 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	24年度末	25年度末	前年度末比
資産合計	39,859	58,476	18,617
現金及び預金	12,148	27,110	14,961
有形固定資産	10,638	12,917	2,279
負債純資産合計	39,859	58,476	18,617
負債合計	11,944	13,597	1,652
純資産合計	27,914	44,878	16,964
資本金	3,074	9,205	6,131

*Your Probing Partner*

# 連結キャッシュフロー

(単位:百万円)

	24年度末	25年度末	前年度末比
営業活動による キャッシュフロー	1,801	5,758	3,956
投資活動による キャッシュフロー	△3,581	△3,658	△ 76
財務活動による キャッシュフロー	△514	12,711	13,225
現金及び現金 同等物の期末残高	11,538	26,346	14,808

*Your Probing Partner*

# 今後の事業環境の見通し

*Your Probing Partner*

# 2025年度の振り返り

- 2025年度は、連結売上高・経常利益ともに、昨年度を上回り、創業以来の過去最高を更新する結果となりました。
- 背景として、非メモリー向けプローブカードは需要が振るわなかったものの、メモリー向けプローブカードは、更なる旺盛な需要を背景とした設備投資による生産キャパシティ及び生産性の向上をもとに、先端半導体用を中心に国内外に高付加価値製品の拡販を推進したことによります。

単位:百万円

	2024年度		2025年度	
	実績	2/6予想	実績	増加
連結売上高	23,829	28,100	29,366	+1,266
連結経常利益	4,640	6,200	7,177	+977

*Your Probing Partner*

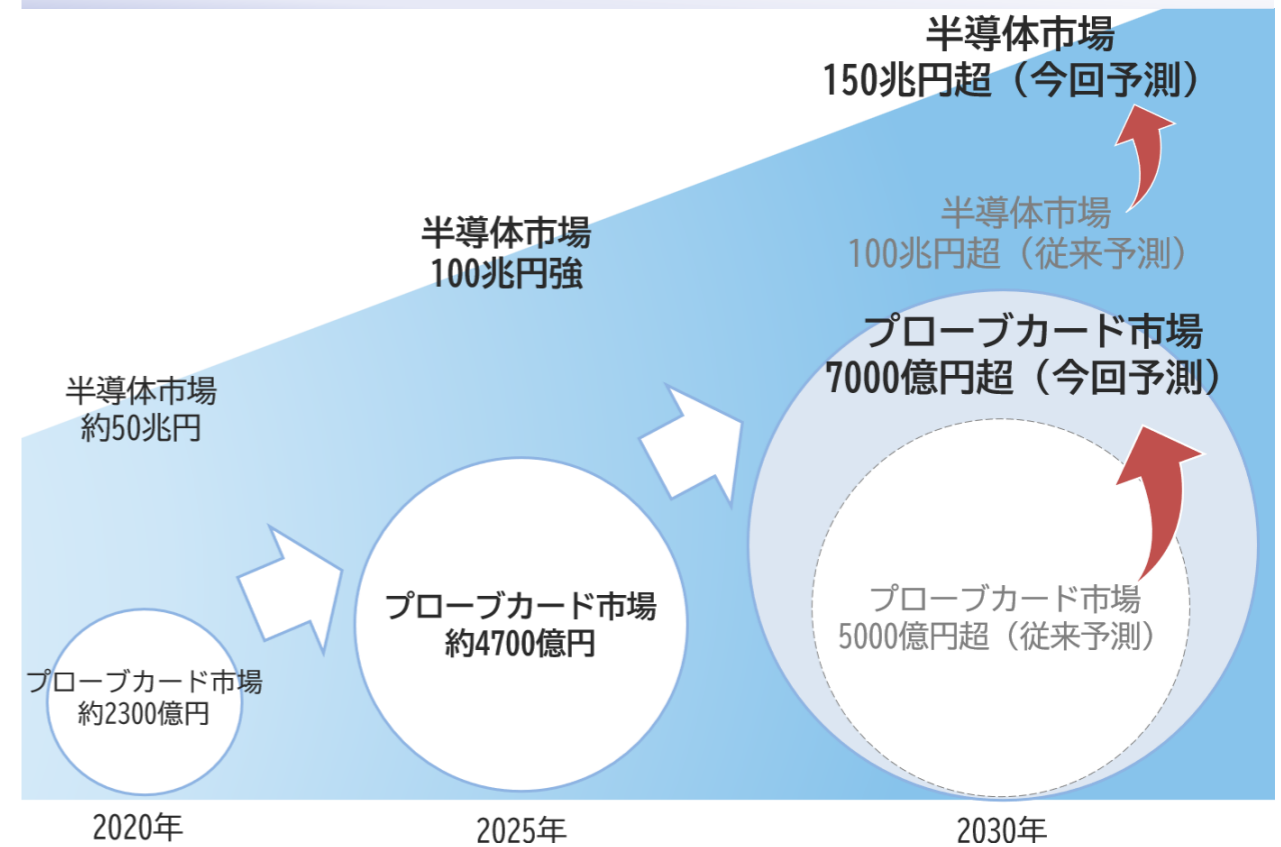
# 市場動向の予測

半導体市場は、データセンター向けや生成AIの画像処理半導体や広帯域メモリー(HBM)等の先端半導体の旺盛な需要を主な背景として、更なる成長が予想されており、メモリーメーカー各社では新工場の建設計画が発表されるなど、更なる増産が図られています。

この市場環境のもと、2025年の半導体市場は100兆円強、プローブカード市場は約4700億円まで拡大しており、2030年には半導体市場は150兆円超(従来予測は100兆円超)、プローブカード市場は7000億円超(従来予測は5000億円超)と更なる拡大を予想しております。

米国の通商政策の動向や、中東情勢など地政学的なリスクによる不透明感はあるが、現状の直接的な影響は軽微と見込んでおりますが、これらの直接的、間接的な影響については引き続き注視してまいります。

## 半導体市場・プローブカード市場の成長見通し



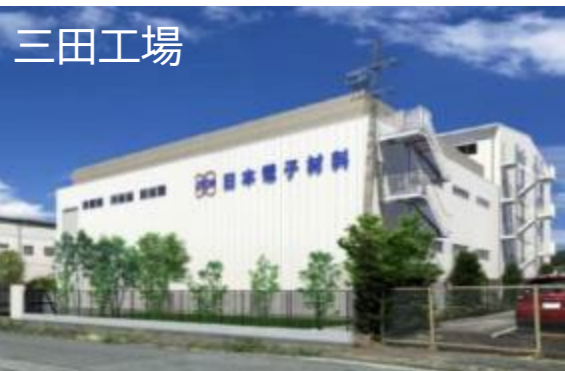
出所:複数のデータを元に当社予測にもとづき記載。  
 なお、2030年市場予測は、USドルを日本円に換算しているため、為替相場の変動により増減する場合があります。

単位:百万円

		2024年度		2025年度		2026年度(予想)
設備投資	<b>3か年累計予想額</b> ( )内は当初予想に対する増加額	8,500		11,500 (+3,000)		14,882 (+6,382)
	単年度	計画	実績	計画	実績	計画
		4,400	4,015	4,200	3,866	7,000
研究開発費		1,900	1,538	2,000	1,681	2,200
減価償却費		1,100	1,196	1,400	1,427	1,800

# Mタイププローブカード生産体制

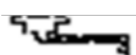
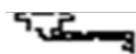
前工程(MEMS)(尼崎・三田)



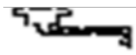
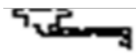
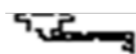
後工程(組立)(熊本)



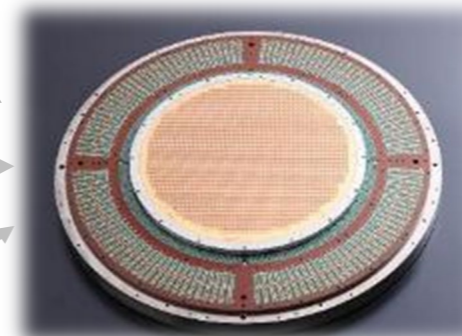
<ST(配線基板)>



<プローブ>



<プローブ>



Mタイププローブカード

*Your Probing Partner*

# 尼崎工場の概要

1. 建設予定地  
兵庫県尼崎市 西長洲町
2. 建設目的  
プローブカードの製造および研究開発設備
3. 敷地面積  
約7,100㎡
4. 建築概要  
 建築面積：約3,000㎡  
 延床面積：約8,000㎡  
 構造：鉄骨造 4階建  
 建物規模：熊本第4工場の約1.3倍  
 建物サイズ：長辺 約100m  
 1階及び3階にクリーンルームを設置予定
5. 竣工予定  
2028年8月



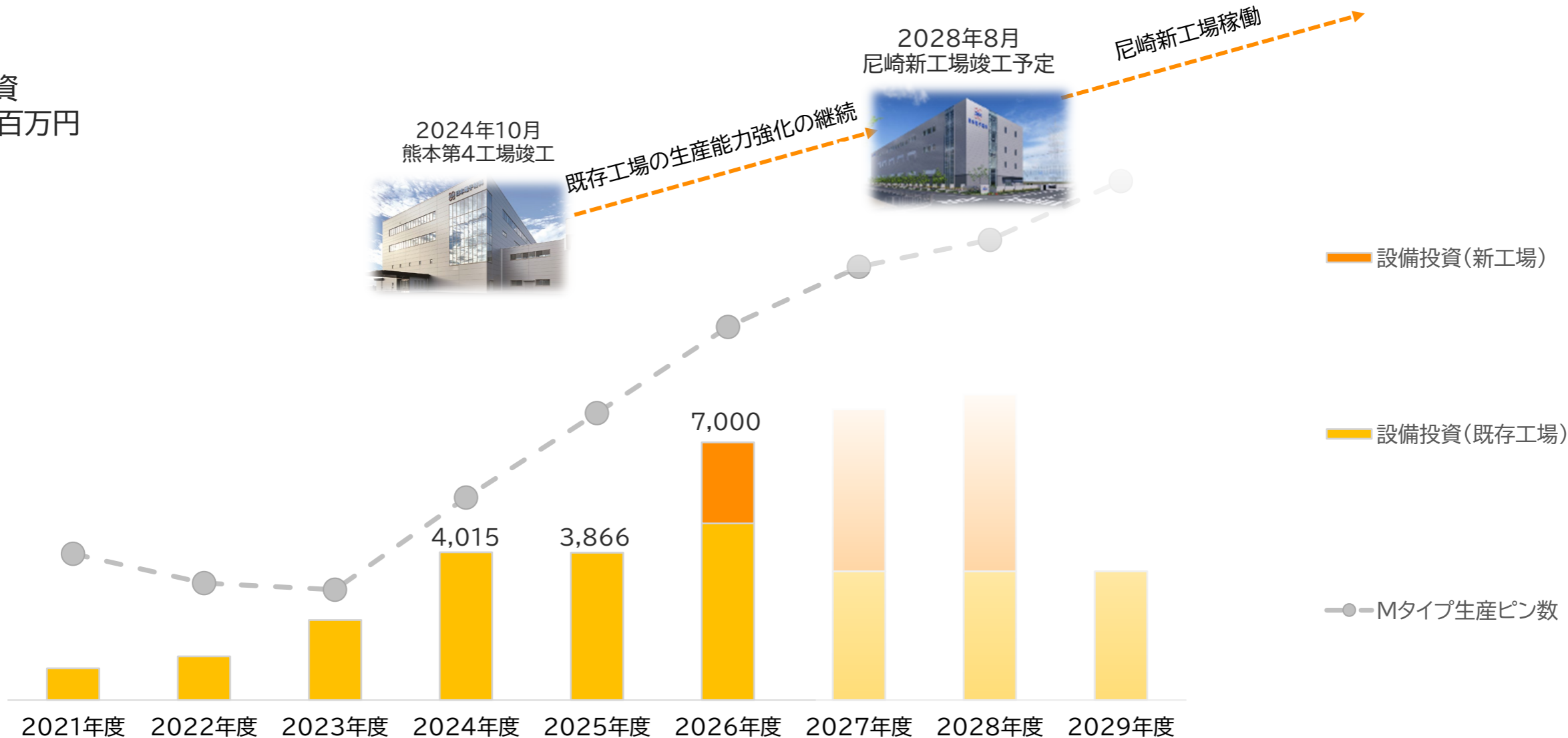
\*建設用地の一部の土地につきましては、地主様との間で定期借地権設定契約を締結しております。  
地主様の詳細につきましては、非公表とさせていただきます。

*Your Probing Partner*

# 設備投資の推移と予想

拡大するメモリー向け需要に応じていくため、Mタイププローブカードの生産能力強化をおこなってまいります。

設備投資  
単位:百万円



*Your Probing Partner*

# 連結業績予想

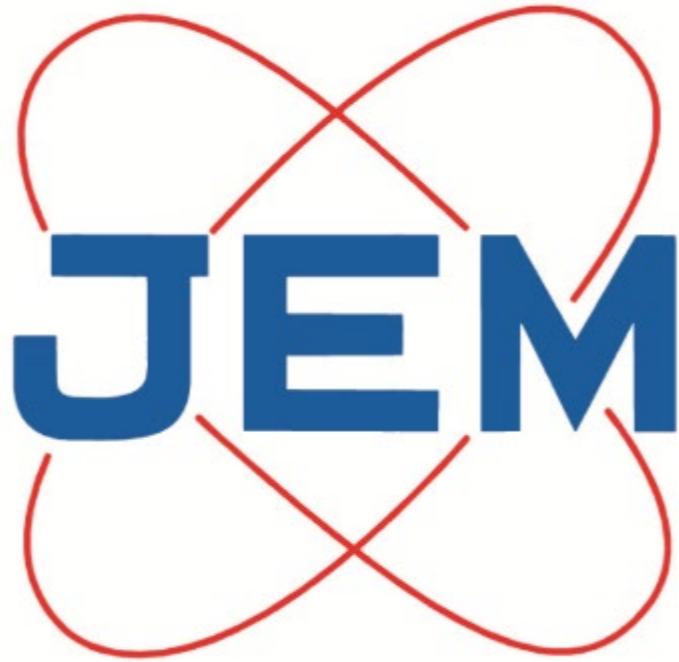


(単位:百万円)

	2025年度 実績	2026年度予想	
		上期	通期
売上高	29,366	16,000	33,000
営業利益	7,249	3,400	7,450
経常利益	7,177	3,300	7,300
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,451	2,400	5,500

※2026年度の業績予想には、中東情勢の影響は織り込んでおりません。  
※配当は年間80円(第2四半期末40円、期末40円)を予定しております。

*Your Probing Partner*



*Your Probing Partner*